

農林水産・建設委員長報告

(下田利春委員長)

議案1件を原案可決、請願1件を不採択

【議案第83号】平成28年南島原市一般会計補正予算

(第5号)

建設部より説明

梅雨前線豪雨による公共土木災害が逐次被害報告があり、災害箇所との増と災害査定額増による増額補正である。

質疑 災害は激甚災害に指定されているのか。

答弁 激甚の指定は平成28年8月17日になつているが、公共土木災害に

ついて本市は地域指定に入っていない。

質疑 査定に該当しない災害が出ているがどれくらいあるのか。

答弁 小災害26件、単独災害31件である。

質疑 小災害、単独災害についての、今後の対応は。

答弁 小災害の起債申請は、今から別途ある。

農林水産部より説明
主なものは、畜産クラ



平成28年6月豪雨被害

スター構築事業費、葉タバコ新品種導入経営安定化対策事業費、産地パワーアップ事業、地すべり等保全事業である。

質疑 農林水産基盤整備の有馬干拓の2次補正はどうなっているのか。

答弁 お願いはしているが、おそらく付かない可能性が高い。

質疑 もし、付かない時はどうするのか。

答弁 来年お願いしようと考えている。

質疑 農林は激甚に指定されているのか。

答弁 6月の豪雨については、激甚の指定は受けている。

質疑 農地災害や農業施設災害に該当しない分の対応は。

答弁 補助に漏れた分は、8割補助や原材料支給で対応している。

質疑 負担金が高く辞退された方が、金の目途が付いたとのこと、後で申請は出来るのか。

答弁 一定の期間をもつて締め切るの基本的



に難しい。次の年(過年度)には出来ない。

【平成27年請願 第10号】

TPP交渉に関する請願

反対討論 国会でも可決成立しており、今更反対するよりも、農業関係に対する対策や、補助をして貰う方に重きをおいた方がよいのではないのか。

深江支所東部水道班を南有馬上水道課へ一本化するについて

急きよ水道部より、深江支所にある東部水道班を南有馬上水道課へ一本化することについての説

明があったため、この時の様子を紹介する。

背景

大雪・地震・大雨等の災害時には連絡の遅延や行き違いが生じやすい状況であった。統合することで、職員の仕事の状況や健康面の把握ができる。漏水においても、30分以内でカバーできる体制を敷く。運転管理や工事設計等の専門分野についても、多くの職員で協議することにより、個々の能力向上や技術の継承につながる。

質疑 市民の皆さんに

迷惑をかけないように、各町の職員や指定業者にお願いすべきでは。

答弁 現在も連休やお盆・年末年始には業者さんにお願ひして、その日の当番を決めている。

質疑 東部水道班の移動の提案は、行革からか、水道部からか。

答弁 水道部からの提案である。機構改革や庁舎再編が遅れており、当面の処置として、行革とも話をしている

意見 機構改革の趣旨は十分理解するが、布津・深江は水道料金が安かった。何年かかかって一本化するということ、や

つと布津・深江の人は理解されつつある。水道班が抜けることで、サービス低下になったと言われないように、最初から注意して取り組んでほしい。他にも様々な意見や要望が出されました。

